

「大阪・関西万博」に向けた検討状況について

1. 「大阪・関西万博」とくしま挙県一致協議会の開催

2025年「大阪・関西万博」に「オール徳島」で取り組むため、県内の各界（商工・農林水産・観光・交通・教育・金融・報道・労働等）から御参画いただく協議会を設置し、万博に向けた各種取組の共有や横連携を図る場としている。

令和5年11月22日、「徳島まるごとパビリオン基本計画」の具体化に向けた取組を議題として、協議会を開催した。

【挙県一致協議会の議事概要】

1 関西パビリオンへの出展内容等について

(1) 徳島パビリオンの展示設計の状況について

- 挙県一致協議会での意見をまとめた基本計画の策定後、
- ・学生とのワークショップでのアイデアを展示計画に反映
 - ・「サステナブル」等をコンセプトに展示を検討

(2) 2025大阪・関西万博における催事参加について

- ・「自治体参加催事」「テーマウィーク」の2種出展の希望で調整

2 徳島への誘客の取組について

挙県一致協議会での意見をまとめた基本計画の策定後、

- ・各コンテンツの実証イベント実施（11/11, 12六本木ヒルズ）
- ・実証イベントの検証により取組課題の洗い出しを行い、改善策を検討

3 万博に向けた協賛制度について

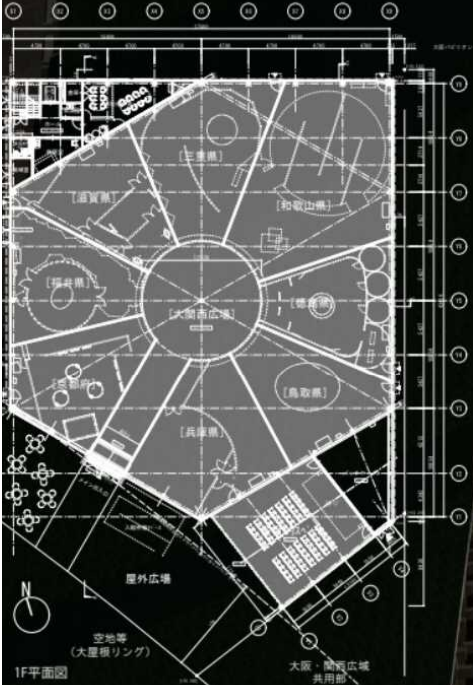
- ・事業者、個人からの協賛を募る仕組みの案を構築

2. 関西パビリオンに関するスケジュール

- 令和5年10月 関西広域連合により起工式の実施（10/6）
令和6年9月頃 パビリオン建築工事の竣工→各府県の展示工事
令和7年2月頃 各府県の展示工事の竣工

KANSAI PAVILION 2025

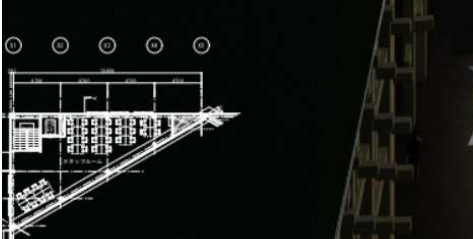
関西広域連合提供



1F平面図



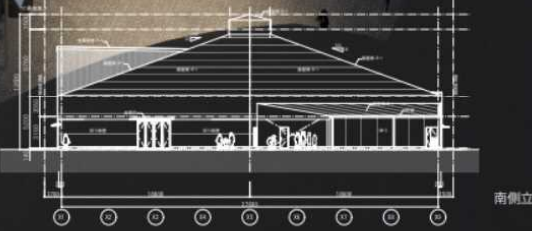
2F平面図



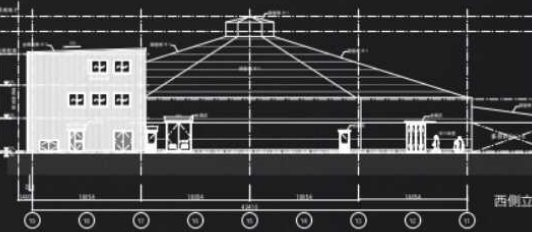
3F平面図



テーマ:いのち輝く関西悠久の歴史と現在
 出展参加でめざすもの:
 「地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信」
 「関西各地へのゲートウェイ」
 出展参加府県:
 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三
 建設地:大阪市此花区夢洲中一丁目-1-20
 主要用途:展示場
 敷地面積:2453.01㎡
 構造:鉄骨造
 建築面積:1656.81㎡
 延べ床面積:1877.17㎡
 平屋建 一部3階建
 最高高さ:13.59m



南側立



西側立

名称	関西パビリオン
テーマ	いのち輝く関西悠久の歴史と現在
めざすもの	地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信、関西各地へのゲートウェイ
位置	東通り北側 ※位置図参照
出展主体	関西広域連合
参加府県	関西広域連合各府県と連携団体（大阪府除く） 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県

パビリオンの特徴

- ・ 関西各府県が趣向を凝らした展示で競演。府県毎のテイストの違いを楽しんで頂けます。
- ・ 万博に来られた方が、ここから直接、関西の各地の周遊観光に向かうことを目指しています。
- ・ パビリオンとWEBパビリオンは同格の存在として展示を担います。
さらにWEBパビリオンで募集し収集した映像は会場のパビリオンでも活用します。
- ・ WEBカメラによる人流把握、顔認証による鍵管理、ロボットを活用した入場誘導や多言語対応等で現時点での最新技術を採用したパビリオン運営を実施します。

パビリオンのスペック

- ・ 敷地面積：2453.01㎡ ・ 延床面積：1877.17㎡
 - ・ 設計施工：太陽工業株式会社 ・ 竣工予定：2024年秋
 - ・ 構造：鉄骨造、地上3階建、高さ13.59m
 - ・ 屋根：膜、ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き、陸屋根（合成スラブ） ・ 外壁：膜、金属サイディング
- 【展示面積】 関西全体(大関西広場他) 166㎡、多目的広場130㎡、
府県個別展示 福井県126㎡、三重県160㎡、滋賀県126㎡、京都府126㎡、兵庫県160㎡、
和歌山県251㎡、鳥取県126㎡、徳島県126㎡

2 関西パビリオン 位置図

関西広域連合提供



3 関西パビリオン 大関西広場イメージパース

関西広域連合提供



センターサークル（昼）



センターサークル（夜）



エントランスゾーン

※現時点での検討案であり、
令和5年度末に
展示プラン策定予定

徳島パビリオンの展示設計の状況について

基本計画 (R5.3)

「S (sustainable)-TRIP」をコンセプトに、先端技術を活用し、徳島の伝統から現在、「サステナブルな未来」を表現



基本設計において検討

【ソフト面】

- ・ 体験メッセージ・空間デザイン
- ・ 運用面 (待機列・動線整理)

【ハード面】

- ・ ユニバーサルデザインに配慮した空間・動線
- ・ スペース利用 (バックヤード・機材)
- ・ 設備面 (電力・照明・音声・ネット環境・空調)

基本設計進める上での考え方

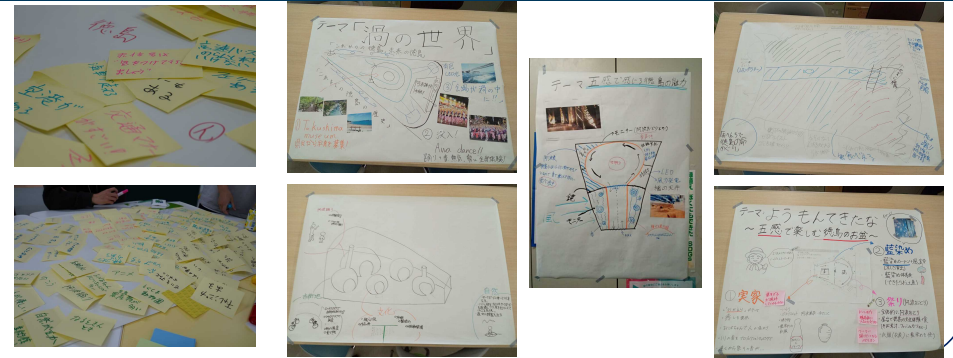
【万博を県民の舞台へ】

- ・ 徳島発の技術、工芸 (LED、阿波藍、木工など) を活用
- ・ 子ども、学生等若い世代による展示パーツ制作など参加型パビリオンに
- ・ 万博後は展示物をリユースし、県内施設での活用や巡回展示などレガシーとして展開

【万博を徳島の未来へ紡ぐ】“学生と知事”によるワークショップでの展示アイデア

【学生の皆さんの意見】

- ・ 五感で感じる (風、におい)
- ・ 長時間滞在で疲れた人のやすらぎ空間に (“実家”感、癒やし)
- ・ 渦の中をイメージさせる会場
- ・ 伝統 (これまで) と未来 (これから) を表現
- ・ 県民参加型 (募集した写真の展示)
- ・ 藍染カーテン (涼を感じる)
- ・ 音 (祭り、川の流れ)
- ・ 阿波おどり (踊りたくなるパビリオン)
- ・ SDGs (ゼロウェイストなど)



スペース設計のキーとなる要素

「藍色」を中心とした青系をキーカラーに



「伝統工芸」をデザインモチーフに

木工 和紙 阿波藍 etc.



スペース全体を展示物として捉え、手触りや匂いを体感

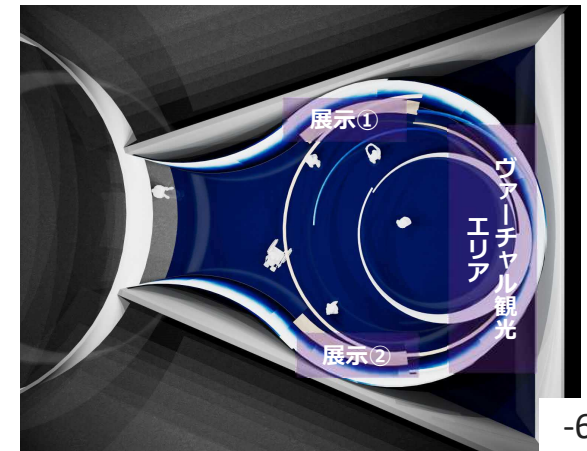
ヴァーチャル観光を主たる体験コンテンツに



没入型映像による視覚と音で観光資源の印象を強く持ち帰る

現在進行中の計画

体験の軸を徳島の“サステナブル”“ナチュラル”“スピリチュアル”とし、阿波藍で染められた空間の中央に、「伝統から紡ぐ未来」[鳴門の渦潮]をイメージさせる象徴的な伝統工芸による造作を設置。内部にはヴァーチャル観光シアターを備え、壁面やオブジェ周囲にはデザインを共通にした展示スペースを設ける。オブジェを中心にして 緩やかな導線を作ることで海・川の水流をイメージした表現。



万博に向けた協賛制度について（案）

「県民が参画し、県民が創る万博」のコンセプトのもと、官民連携により、万博に向けた取組を推進するため、企業・団体・個人からの協賛を募る仕組みを構築する。

※制度検討のため設置したワーキング・チームにて協議

（商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、阿波銀行、徳島大正銀行）

制度概要

(1)対象者：事業者及び個人

(2)種別・金額

①協賛金

1万円以上

②物品の貸与・役務の提供

100万円相当以上

(3)協賛金の受入方法 右図のとおり

	事業者	個人
県外	企業版ふるさと納税	個人版ふるさと納税
県内	寄附金	個人版ふるさと納税 (県産品等の返礼品対象外)

協賛特典

「認定証(仮)」を発行するほか、次のような特典の提供に向けて調整していく

内容		1万円以上	10万円以上	50万円以上	100万円以上	300万円以上
協賛金	会場広告(※調整中)					○
	催事会場広告(※調整中)				○	○
	スタッフユニフォーム(※調整中)			○	○	○
	まるごとパビリオン広告(※調整中)		○	○	○	○
	HP掲載	○	○	○	○	○
	チラシ掲載	○	○	○	○	○
	呼称使用权	ブロンズパートナー	シルバーパートナー	ゴールドパートナー	プラチナパートナー	プレミアムインディゴパートナー
物品貸与/役務提供	名称表示権				○	○
	呼称使用权				サプライヤー	

・特典については累計額を適用
・広告掲載について関西広域連合等と今後協議